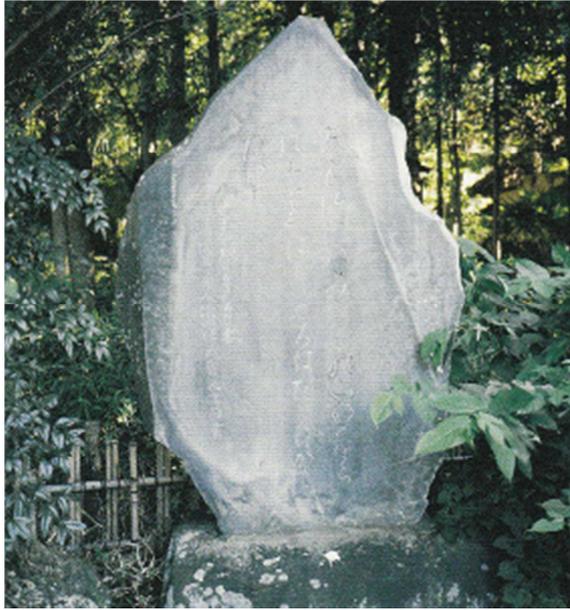


まんようかひ  
万葉歌碑



万葉歌碑は、県立みかも山公園南口の東、<sup>ふもと</sup>麓の<sup>みかもじんじゃ</sup>三毳神社境内にあります。

「<sup>しもつけのみかも</sup>下野野美可母の<sup>こなら</sup>山の小櫓の  
すまぐは<sup>こ</sup>し<sup>た</sup>児ろは<sup>け</sup>誰が<sup>きざ</sup>筥か持たむ」

(万葉集卷十四・3424)が<sup>きざ</sup>刻ん

であります。

「<sup>みかも</sup>しもつけの三毳山の小櫓のようにかわいらしく美しい娘は、一体誰の筥（食物の器）を持つのだろう。」すなわち誰の<sup>つま</sup>妻になるのだろうという<sup>そほく</sup>素朴な恋心、<sup>いつわ</sup>偽りのない思いを読み、ほのぼのとした<sup>きひん</sup>気品のある<sup>そほく</sup>素朴な愛の歌です。（「ふじおか見てある記」藤岡町教育委員会から）